

## 百石町漁業協同組合 第74回通常総会 祝辞

本日、百石町漁業協同組合 第74回通常総会が開催されますことを、心よりお祝い申し上げます。

ご出席の皆様におかれましては、日頃より町水産業の振興を始め、行政運営全般にご理解とご協力、ご尽力を賜っておりますことに、心からお礼を申し上げます。

昨年は、ロシアのウクライナ侵攻による資材や燃油の高騰、八月の大雨による海岸線への大量の漂着物堆積被害のほか、今だ撤去されていない八戸沖外国貨物船座礁事故の問題、そして、3年に及ぶ新型コロナウイルス感染症の影響もあり、厳しい1年であったと思います。

また、鮭の不漁がもたらす漁獲量の落ち込みや、ホッキ貝資源の減少により、漁業経営に大きな不安を抱えられていることを聞いており、案じております。

このような状況を踏まえ、昨年は、「漁業用燃油高騰対策支援事業」や「水産物プレミアム販売事業」によるホッキ貝特売会を実施し、漁業者の支援と経済対策に取り組みました。今年こそは、外国船が完全に撤去され、戦争やコロナが終息し、天災もなく、豊漁になることを願うばかりです。

さて、先日、町の新年度予算を承認いただく町議会が行われました。水産関連予算といたしましては、漁港内浚渫のための「漁港施設機能保全事業費負担金」、漁港へ防舷材を増設するための「県単独漁業施設事業費負担金」、「水産多面的機能発揮対策事業費負担金」等を盛り込んでおり、可決されたところです。また、令和5年度中に陸こうゲート遠隔操作化が完成する予定です。

なお、百石漁港の整備につきましては、今年も、これまでの整備事業の効果を検証し、次期計画に向けて、今後の方針を県と協議して参りますが、若手漁業者や組合役員の皆様との意見交換会を継続し、これまで以上に貴組合、そして漁業者の皆様と連携を密にしながら、水産業の持続的な発展と振興に寄与できますよう、取り組んでまいりたいと考えております。

先般、奥入瀬川鮭鱒増殖漁業協同組合様から、サケふ化放流事業が継続できるよう、ふ化場運営に対しての支援について陳情を受けたところです。実は昨日、日米合同でサケ稚魚放流事業を4年ぶりに観光物産協会と町とで行い、約40万尾の稚魚を奥入瀬川に放流しております。こうして放流したサケが4年後、大きくなって、元気に我が百石沖、奥入瀬川へたくさん戻って来るよう期待を込め、支援について前向きに検討したいと考えております。

結びに、貴組合のますますのご発展と、本日もご出席の皆様のご健勝をご祈念申し上げます、お祝いの挨拶といたします。

令和5年3月19日

おいらせ町長 成田 隆